

令和7年1月17日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会
会長 中島 智人

令和6年度ボランティア活動奨励賞における表彰の対象となる者の決定
について（答申）

令和6年9月24日付け県サ第1188号をもって諮問のあった標記について、別紙の
とおり答申します。

問合せ先

かながわ県民活動サポートセンター

基金事業課 鈴木

電話 045-312-1121（内線 2831）

(別紙)

令和6年度ボランティア活動奨励賞における表彰の対象となる者の決定について

1 選考結果

別表のとおり

2 選考日

令和6年12月11日(水)

3 備考

副賞賞金は、1団体あたり30万円とする。

令和6年度ボランティア活動奨励賞受賞団体一覧

1	団 体 名	ごま子育て応援プロジェクト！		
	代 表 者	代表 高澤 真奈美		
	所 在 地	座間市	活動開始時期	2016 年 11 月
	活 動 分 野	まちづくりの推進		
	活 動 の 概 要	妊娠出産によるストレスや孤立等の問題を抱える女性に対し、産後に豊かな子育てができる環境作りを実施		
	選 考 理 由	子育て期だけでなくその手前の妊娠出産期の支援も含めて活動されていること、また、当事者への支援にとどまらず、子育てを起点に地域の企業や団体等とも連携し、暮らしやすいまちづくりを目指して活動されていること、さらに、多文化交流など座間という地域の特性に対応した事業内容を展開されていることを高く評価しました。 子育て期の課題は多岐にわたり、当事者を支える活動だけでも様々なご苦労があると察します。その中で、視野を広く持ち、他団体と連携しながら、地域のニーズに合わせた多彩な活動を展開されていることは、皆さんの強い思い、様々な工夫、行動力があってのことと想像します。 子育て支援に取り組む団体は県内に多数あり、特に郊外を拠点に活動する団体には、モデル的な活動になることが期待されます。 この活動は地域に求められるものであり、既に多くの団体ともつながりがあるといます。本奨励賞の受賞が、補助金や助成金中心の活動から、寄付金や会費など、支援者によって支えられた多様な財源の獲得によるより自主的な運営へと移行する契機となれば幸いです。 今後は、既存の活動の充実に加え、資金面や人材面を含めた運営基盤の整備も進めつつ、座間が「だれもが子育てに関われるまち」になることを目指して、さらに発展していかれることを期待いたします。		
2	団 体 名	平戸平和台地区地域運営協議会		
	代 表 者	委員長 望月 信		
	所 在 地	横浜市戸塚区	活動開始時期	2017 年 11 月
	活 動 分 野	まちづくりの推進		
	活 動 の 概 要	近隣の空き家をよりよく活用し、住宅街の中にあって、様々な世代が集まれる地域のつながりづくりの場や機会を創造		
	選 考 理 由	多くの地縁型組織が、その活動を維持する困難に直面している中で、地域特性に合わせながら課題に対して長期的に取り組む貴団体の姿勢や活動、また、シニア層、特に男性の参加を促し活躍の場を提供していることについて高く評価しました。 生活支援コーディネーターと連携し、地域課題を協議する仕組みは、モデルケースとしての意義を持つと考えられます。さらに、今後、活動の新規性の強化や若い世代の参加を増やすことなどが実現されていくと、他の地縁型組織にとっても、目指す姿として参考になるものと考えられます。生活支援コーディネーターやケアプラザ(地域包括支援センター)など公的な仕組みや制度と連携しつつも、より地域住民が主体となった取り組みとして、この活動が推進されていくことが望ましいと考えます。 地域運営協議会は、県内各地の自治体で設置されており、類似の取り組みも多く行われています。貴団体が、奨励賞に採択されることで、他地域での活動がより活発となることも期待しています。今回の受賞を契機とし、今後も平戸平和台地区として独自の可能性や問題解決に向けた取り組みなどを模索し、併せて活動の維持・発展に向けて、若い世代の参画や主体性を強化されていくことを期待します。		

3	団 体 名	N P O 法人 Sharing Caring Culture		
	代 表 者	代表理事 三坂 慶子		
	所 在 地	横浜市都筑区	活動開始時期	2014 年 2 月
	活 動 分 野	子どもの健全育成		
	活 動 の 概 要	日本で暮らす子育て中の外国人の、孤独な育児の解消や、外国人親子の社会参加を促す、包摂的な地域づくりのための活動を実施		
4	選 考 理 由	行政の手が行き届いていなかった、日本で子育てをする外国出身の方々の支援を、子育て情報冊子の配布、交流会の開催、防災やAEDについて学ぶ講習会の実施など、総合的に展開しており、10 年間にわたって着実に実績を積み上げてきていること、さらに、子育て支援事業にとどまらず、子ども多文化教育事業も立ち上げるなど、事業の前進も図られていることを高く評価しました。 また、事業開始当初から、外国出身の方々を単に「支援される側」とするのではなく、子育てをする仲間というフラットな関係として位置づけ、団体の立ち上げを一緒に行ったり、外国人編集長を中心とした情報雑誌の作成を行ったりと、外国人の人たちが活動の担い手となっていることにもモデル性が認められました。 今後の事業の安定した継続や拡充に向け、財政基盤、組織基盤をより一層堅固なものとするべく、引き続き行政への提言や、市民・企業等から賛同を得ることに注力するとともに、事業運営の担い手の人材育成にも取り組んでいくことが望まれます。貴団体の事業ノウハウが、県域に広く波及していくことを期待しております。		
	団 体 名	虹の会		
	代 表 者	代表 米倉 由布子		
	所 在 地	川崎市麻生区	活動開始時期	2012 年 3 月
	活 動 分 野	子どもの健全育成		
5	活 動 の 概 要	多世代の地域交流・生涯学習、子ども・青少年の支援、子育て支援の場として「白山子ども図書館 ほんの森」を運営		
	選 考 理 由	35 年間にわたり地域で親しまれてきた私設の児童図書館を、地域住民によるまちづくり協議会や社会福祉施設、行政と連携しながら市民によるボランティアグループとして継承し、子ども図書館の活動を継続してきたことを高く評価しました。 この子ども図書館の活動は、児童図書館で読み継がれてきた蔵書だけではなく、その理念と人と人とのつながりを継承したもの、との説明がありました。この言葉通り、活動を通して人と本とをつなげるだけではなく、本を通じて集う様々な立場にある人と人をつなぎ、地域コミュニティの豊かさの形成に大きく寄与していることと思います。さらに、関わる人たちの自由な発想により活動を行ったり、活動に関わった人たちが、他の地域で同様の活動を行ったり、市民のボランティアによる小さな図書館であるからこそできる広がりを感じられます。 今回の受賞を契機として、これまで地域で読み継がれてきた良書とともに、図書館を維持してきた様々な人たちのつながりが継承され、「本の文化に根差したまちづくり」が広がり、さらに発展されることを期待します。		
	団 体 名	特定非営利活動法人 地球学校		
	代 表 者	理事長 丸山 伊津紀		
	所 在 地	横浜市栄区	活動開始時期	2003 年 3 月
	活 動 分 野	子どもの健全育成		
	活 動 の 概 要	外国につながる小中学生を対象とした日本語・学習支援を行う「地球っ子教室」を実施		

	選 考 理 由	外国につながる小中学生に向け「地球っ子教室」として日本語や学習支援を行っていること、さらに、その支援を通じて子どもたちにかけがえのない居場所を設けていることを高く評価しました。 親の仕事の都合などで海外から日本に来て、なじみのない言葉や環境、文化の中で暮らす子どもたちは少なくありません。母国に存在していた自分のコミュニティ、友達、普通の生活から自分の意志ではないところで切り離され、本来ならしなくてもいい苦勞をしたり、孤独を感じたりしている子どもたちにとって、家庭でも学校でもない教室はほっとできる場となっていることが推察されます。 また、教室で日本語を習得していくことは、学校生活やその後の進路を含めた子どもたちの人生の選択肢も広げることにつながるでしょう。一部の卒業生が支援する立場となって関わっていたり、親戚を紹介したりという継続性も、とても重要なものと考えています。 同様の立場の子どもたちは、今後も増加していくことが想定されます。 貴団体はオリジナル教材「もぐらんワーク」を近くウェブ上で一般公開される予定と伺っています。これは教室の活動の外にいる子どもたちにも役立つことでしょう。今後も、外国につながる子どもたちの生活が前向きなものとなり、社会の一員として、不安や心配を抱えることなく暮らしていける後押しする活動を期待しています。
--	---------	---